



ARC Week 2015

July 22nd-July 28th, 2015

第一部

祇園祭

デジタル・ミュージアム展 2015

主催：立命館大学アート・リサーチセンター、立命館大学情報理工学部
協賛：株式会社フォーラムエイト、株式会社キッドセンター
協力：公益財団法人 祇園祭船鉾保存会、公益財団法人 四条町大船鉾保存会

日時

7月22日(水) ▶ 24日(金)

10:30-17:00

※24日(金)は14:30まで

会場

京都文化博物館
別館ホール

〒604-8183 京都市中京区三条高倉



第二部

文部科学省 共同利用・共同研究拠点

「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

国際シンポジウム

主催：立命館大学アート・リサーチセンター
文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

日時

7月25日(土) 13:00-17:25

会場

立命館大学
アート・リサーチセンター

第三部

文部科学省 共同利用・共同研究拠点

「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

workshop 期間

主催：立命館大学アート・リサーチセンター
文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

開催期間

7月26日(日) ▶ 28日(火)

会場

立命館大学
アート・リサーチセンター



【問い合わせ】 立命館大学 研究部 衣笠リサーチオフィス内 アート・リサーチセンター
文部科学省 共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」 事務局 担当：岡本、服部(春)、池田
TEL:075-465-8476(9:00~17:30) // e-mail: r-darc@st.ritsume.ac.jp // URL http://www.arc.ritsume.ac.jp/ARC_week_2015/



立命館大学アート・リサーチセンター「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」は、2014年度より文部科学省 共同利用・共同研究拠点に認定され、学術的レベルでの日本文化資源のデジタル・アーカイブを促進する拠点として、研究活動を行なっております。また、これまでに構築してきた海外における日本文化研究拠点との人的ネットワークを活用しながら、従来にない広がりを持つ研究コミュニティ創出に努めております。この度、本拠点の活動の一環として、下記の通り、『ARC Week 2015』を開催いたします。

第1部 ■ 2015.7.22^{Wed}-24^{Fri}

祇園祭

デジタル・ミュージアム展 2015

2013年度・2014年度に続き、祇園祭の山鉾巡行の超高精細CG、巡行時の振動や音、懸装品の触感などを最先端バーチャルリアリティ技術で疑似体験できる「デジタル・ミュージアム」研究プロジェクトの作品を展示・一般公開します。また、日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点を含め、アート・リサーチセンターの研究活動の紹介、研究成果も一般公開いたします。

展示内容

- 振動台によるバーチャル山鉾巡行体験システム
- 現在、過去、未来の山鉾巡行のバーチャル復原
- 世界の美術館・博物館が所蔵する浮世絵の横断検索システム
- 船鉾の構造を「透視」する
- 京都の歴史的な町空間を3Dゲーム気分で探索
- 仮想世界による日本文化体験ゲーム
- 薪能における能装束の光と影のゆらめき再現
- 巡行経路連動型祇園囃子体験システム
- 共同研究課題ポスター展示・DVD上映

[京都文化博物館別館行事] 剣鉾差しの実演と解説

日時：7月23日(木) 18:00、18:30の2回公演 無料
会場：京都文化博物館 別館 三条通り沿いウッドデッキ
出演：北白川壱之鉾差し方

第2部 ■ 2015.7.25^{Sat}

文部科学省 共同利用・共同研究拠点
「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

国際シンポジウム

基調講演、2015年度共同研究課題による研究発表会、ポスター・資料展示を行ないます。



Program

- | | |
|-------|---|
| 12:30 | 開場・受付開始 |
| 13:00 | 開会挨拶 立命館大学アート・リサーチセンター センター長 矢野桂司 |
| 13:05 | 基調講演 チューリッヒ大学 教授 Hans Thomsen |
| 13:45 | ポスターセッション |
| 14:10 | 休憩 |
| 14:20 | ①「近代京都の市街地の形成と建築様式・用途との関連性に関する研究」
研究代表者：京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授 大場修 |
| 14:40 | ②「東南アジアの舞踊のドキュメンテーションとデジタル・アーカイブ研究」
研究代表者：お茶の水女子大学基幹研究院 准教授 中村美奈子 |
| 15:00 | ③「中世語彙画像対照データベースの構築に関する基礎研究」
研究代表者：カルガリー大学 教授 X. Jie YANG |
| 15:20 | 休憩 |
| 15:40 | ④「京都盆地を対象にした文化資源デジタル・コンテンツの利活用と流通を促進するプラットフォーム構築」
研究代表者：凸版印刷株式会社 文化事業推進本部 奥窪宏太 |
| 16:00 | ⑤「浮世絵データベースシステムを応用した浮世絵の新研究」
研究代表者：立命館大学衣笠総合研究機構 客員研究員 岩切友里子 |
| 16:20 | ⑥「近世近代期京都の地誌・案内記を対象としたデジタルアトラスの構築」
研究代表者：徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授 塚本章宏 |
| 16:40 | ⑦「演劇上演記録のデータ・ベース化と活用、ならびに汎用利用システム構築に関する研究」
研究代表者：公益財団法人 松竹大谷図書館 武藤祥子 |
| 17:00 | ⑧「富本憲吉とバーナード・リーチ往復書簡の研究—京都市立芸術大学所蔵資料を中心に」
研究代表者：京都市立芸術大学 准教授 森野彰人 |
| 17:20 | 閉会挨拶 立命館大学 教授 赤間亮 |

第3部 ■ 2015.7.26^{Sun}-28^{Tue}

文部科学省 共同利用・共同研究拠点
「日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点」

workshop 期間

2015年度共同研究課題によるワークショップ、研究会、シンポジウム等、研究に資する集会を行います。

- 「SfM-MVSによる文化遺産の3次元記録とその活用」※1 発表者：山口欧志
- 「PHPによるデータベース検索システム開発実習」※2 発表者：山路正憲
- 「演劇上演記録データベースを応用した蔵書管理システムの運用事例」 発表者：井川繭子
- 「画題研究会」
発表者：赤間亮、中村恵美、Kazuko Kameda-Mardar、Shalmit Bejarano
- 「『バーチャル京都』のプラットフォーム活用に関する意見交換」
発表者：奥窪宏太、大場修、塚本章宏
- 「モーションキャプチャー」 発表者：小島一成、八村広三郎
- 「光学顕微鏡でみる浮世絵の世界（技術実習）」 課題代表者：南川文夫
- 「デジタル風俗画の比較研究」 発表者：奥窪宏太、川嶋将生、西山剛
- 「研究課題『デジタル・アーカイブ手法を用いた近代染織資料の整理と活用』ワークショップ」
発表者：長崎巖、青木美保子、木立雅朗、鈴木桂子、山本真紗子

※1 パソコン、デジタルカメラ、SDカード、あれば三脚をご持参ください ※2 パソコンをご持参ください